

# 「風しん抗体検査と予防接種を受けましょう」

文 = 山田 朋枝 (保健師)

国の風しん追加的対策（抗体検査・予防接種）の実施期間が令和6年度まで延長になりました。

年度延長に伴い、町では子どもの頃、風しんの予防接種を受ける機会がなく、抗体保有率が他世代に比べ低い(約80%)  
昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性（風しん抗体検査未受診）を対象に、今年の春クーポンを送付しました。

自分が風しんに感染すると、家族や周囲の人たちに広げてしまう恐れがあります。風しん抗体検査と予防接種を受け、自分や周囲の方を風しんから守りましょう。



なぜ風しんの抗体保有率を上げる必要があるの？

風しんは感染者の飛沫(唾液のしぶき)などでうつる、感染力が強い感染症です。妊娠早期の妊婦が風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性風しん症候群になる可能性があります。また、成人が風しんに感染すると小児に比べて症状が重くなることもあるため、感染拡大の防止と重症化予防のために抗体保有率を上げる事が必要なのです。



どこの病院で抗体検査・予防接種が受けられるの？

全道ほとんどの医療機関で受けられます。まずは受診予定の医療機関に対応可能か確認しましょう。また、厚生労働省のホームページにも対応可能な医療機関が掲載されていますのでご確認ください。羽幌町内の医療機関は道立羽幌病院、加藤病院、天売・焼尻診療所で受けられます。事前に医療機関へ連絡してから受診してください。



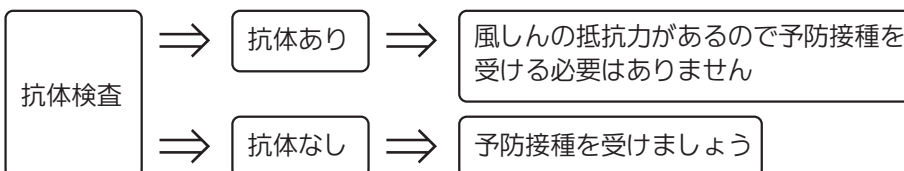
人間ドックや職場健診でも抗体検査は受けられるの？

受けられます。道立羽幌病院や加藤病院で行う『個別健診』、離島や夏・冬に羽幌町すこやか健康センターで行う『総合健診』、または職場健診・人間ドックと一緒に抗体検査が受けられます。必ず、医療機関や健診機関へ風しん抗体検査を受ける事を事前に伝えてください。



抗体検査を受けずに予防接種を受けてもいいの？

既に抗体が十分にある方は予防接種を受ける必要はありません。ワクチンを効率的に活用するため、まずは抗体検査により十分に抗体があるかを調べ、その結果、十分な抗体がない方が予防接種の対象となります。



無料で受けられますので、予防接種を受けるときはクーポンを忘れず持参ください。

※ クーポンを紛失した場合は再発行しますので、羽幌町すこやか健康センターまでご連絡ください